

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	高瀬 聖吉	所属	東邦大学医学部解剖学講座
研究集会等名称	日本バイオサイコロジー研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 6名 (うち認定心理士 1名) 非会員 5名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>日本の心理学界は、欧米に比べて生物学的なアプローチを用いる研究者人口が少ない。これは心理学関係学科が文学部または教育学部に設置されていることに由来すると考えられる。また、本研究会代表者のように大学院から医学研究科に進んだ心理学研究者は、結局、心理学関係学科では職を得ることができず、医学、生物学系の学科、研究所で職を得ざるを得ないという現状がある。バイオサイコロジーが日本に根付くためにも、また、バイオサイコロジストを目指すこれからの学生のためにも、生物学的なアプローチを用いる心理学研究者の情報交換を目的としたコミュニティが必要である。本研究会設立の目的はこれだけではない。現在の日本の心理学界は、2016年に国際心理学会議が開催されることに伴い、より一層の国際性が求められている。本研究会では、求められる国際的競争力および生物学領域との学際性を備えた心理学研究者が集うコミュニティを目指し、尖鋭的研究の情報交換の場を築いて行きたいと考えている。これは、先述の後続育成に多大なる貢献をもたらすと考えられる。</p> <p>活動としては、年一回、日本心理学会年次大会においてワークショップを企画することを定期的活動とするが、今年度は日本行動科学学会が当研究会の活動と同様の趣旨に基づき年次大会を開催するため、例外的に合同大会を開催した。研究集会助成金は、その合同大会運営補助費および、今年度の日本心理学会ワークショップ運営 (講師謝礼) に充当した。</p>		